

ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与された COVID-19 患者の背景因と
治療効果の検討（観察研究）

当院の研究責任者	田村 明彦（副院長）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	土井 洋平（藤田医科大学微生物学講座 感染症科・教授）
本研究の目的	本研究の目的は、ファビピラビルなどの抗ウイルス薬やその他の抗ウイルス効果が示された薬剤が投与された COVID-19 患者の臨床情報を収集、分析することで各薬剤に COVID-19 に対する治療効果が見られるかどうかを検討すること。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	研究期間：許可日～2020年12月31日 研究対象期間：2020年12月までに投与される患者
研究の方法 (使用する試料等)	●対象患者 咽頭ぬぐい液または鼻咽頭ぬぐい液を検体として、核酸増幅法で SARS-CoV-2 陽性であることが確認されている症例。ファビピラビルなどの抗ウイルス薬、または抗ウイルス効果が示されている薬剤が投与された症例。 ●利用情報 1) 患者基本情報 施設名、患者の性別、生年月日、入院日、退院日など、ウイルス検査の結果、既存疾患、入院時の状態。2) 投薬時の状態 患者の状態、治療内容、検査値、薬剤の名称、投与量及び投与期間。
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供する。
個人情報の取り扱い	個人情報保護の観点から、対象者は研究専用の ID 番号で登録され、誰の情報か分からない状態で研究代表機関に集約される。名前、病院での ID 番号など個人が特定可能な情報は記録しない。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、AMED研究課題により実施する。 開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 担当者：副院長 田村 明彦
備考	